



長房だより

地域運営学校
令和8年7月17日
八王子市立長房中学校
【第4号】

長房で育つ

～長房中学校区のキャリア教育～

校長 上田 太

梅雨明けも間近と感じられるような暑い日が続いています。夏休みまでもう1週間余りとなりました。夏休みは子供たちの日中の主な居場所が学校から家庭・地域に移ります。「地域の子どもは地域で育てる」という言葉をこのところよく耳に目にします。ここではこの言葉の意味するところについて考えてみたいと思います。学校か地域か、といった二択ではありません。どういうことでしょうか。

7月6日(月)の朝礼では、「あなたの人生はあなたが主人公の物語[※]。その物語を丁寧な言葉で紡いでいこう」という話をしました。これまで何度も、「やらされてやるのは本当の学びではない」というようなことを言ってきました。「やらされている」ままでは、いつまでたっても物語の主人公にはなれません。困難なこともうまくいっていないことも、自分が主人公の物語の中ではむしろあるべき重要なエピソードになるはずです。今、子どもたちはこの長房で暮らしながら、人生という物語の中を進んでいます。

豊かな人生を歩んでいく上では、自分が人生その時その時の立場に応じて果たすべき何かの役割を自覚し、「役割を果たす」ことが欠かせません。それは「働く」ということでもあり、大変重要な営みです。働くとは、対価としてモノやお金を得ることが基本ですが、そればかりではありません。家事労働をはじめ、社会や家庭の中で期待された役割を担うことすべてが含まれます。人生の中で様々な役割(＝ライフキャリア)を重ねながら必要な能力を身に付け、自立した豊かな人生を送れるように支援するのがキャリア教育です。真に実のあるキャリア教育とするためには、家庭、学校、地域社会といった身近な所での具体的な役割の経験を通して力を育むことが肝要です。学校での係や当番活動などもその一つです。しかし家庭や学校はあくまでも人数や年齢が限られた範囲での集団です。生きて役立つ力を得るためには、そこでの経験と並行してどうしても必要なのが、地域社会での経験です。

地域の中で自分はどんな役割を果たすことができるのか、それを知るためには地域に出て行って地域をよく理解することが欠かせません。地域に積極的にかかわり、地域の大人と出会い、一緒に何かをやったり対話したりすることを通して、実社会のリアリティの中でキャリアを重ねる経験ができるわけです。八王子市教育委員会では、「実社会と接続したキャリア教育」として全中学校区で小中学校が一貫して取り組む施策を始めています。長房中学校区でも、今年度から本格的に取り組みを始めています。長房中学校区では「リベラルアーツの考え方に基づいた、金融教育を柱としたキャリア教育」、つまり教科の枠を超えてこれまでの学びの成果をすべて活用するという考えに基づき、お金の学習を基盤にした販売体験などを柱にキャリア教育を進めることにしています。

これを実現するためには、次のことが必要だと考えています。

第一に、ご家庭のご理解とご協力です。各ご家庭におかれましては、どうかお子さんを積極的に地域の活動に参加するよう促してくださるようお願いいたします。例えば青少年対策長房地区委員会で年2回実施する「クリーン活動」への参加、10月末の「はちゃめちゃハロウィン祭り」へのボランティア参加、ふれあい館で実施している「みんなの食堂」へのボランティア参加、美しい八王子をつくる会主催による9月の「みんなの川と町の清掃デー」への参加、その他町内会や自治会、子供会活動へのお手伝い、等…。

こうした取組に参加したことは、ご家庭からの希望により通知表の所見欄に記載しますし、入試に際して高等学校へ提出する調査書の「諸活動の記録」欄に記載することもできます。こうしたボランティア体験は今後ますます重視されることと思います。「やらされている」のではなく、お子さんが意欲的に取り組んでいるなら、とても大きな自信と励みになるはずです。

第二に、地域の皆様のお力が必要です。販売体験や職場体験で力を貸してくださる事業所様に手を挙げていただいたりご紹介していただきたいと思います。それだけでなく、地域の大人として仕事について、働くということについて、子どもたちに話していただけると幸いです。また、ぜひ地域の皆様には子供たちを地域の宝としてみんなで育てるという意識を今一度確かめていただければと思います。これまで同様あるいはそれ以上に子どもたちも参画できる企画をお願いいたします。学校にもどうかぜひ足を運んでみてください。山裾の坂を上った場所にあることがネックですが、本校と船田小の校地を一体化した義務教育学校への移行の青写真が描かれているように、子どもを核に地域の皆様が集まる地域のセンターとしての役割を担う所存です。

少し横道にそれますが、中学生と接する際によく聞くのが、「思春期の子どもへの接し方は難しいのではないかな」と思うと声をかけるのもつい気が引けてしまう、というような声です。確かに多感な時期、心の大変動の時期でもありますからその通りの部分もありますが、彼ら彼女らが聞きたいのは格式ばったお話ではなく、頑張っている大人の生の姿です。私にも小6と中3の息子がいますが、家ではできるだけ自分の失敗談を話すようにしています。今だから話せるあの「黒歴史？」はとてもよく聞いてくれます。大人はカッコいいモデルを示さねばと考えがちですが、聞いて面白いのは、うまくいった、成功した話よりも、失敗した話、そういう物語なのではないでしょうか。こうしたら絶対うまくいくと言えない時代です。成功事例よりも失敗やダメージからどう立ち直ったのか、リカバリーできたのかできなかったのかという話が聞きたい。そこを生き抜いたから今があるというのは既に伝わっていると思います。どうかご家庭でも地域でも、あまり構えずに中学生と対話していただけると幸いです。

そして、これら社会（地域の大人）と接続して行う学びこそが、普段何のために学習活動を行っているのかということとビビッドに（鮮明に）つながってくるのです。日頃の学びが、こんなところにつながっているのだという気付き、そこからもっと学んでみたい、もっと良くしていきたいという意欲につながっていくこと、こんなことを保護者・地域の皆様と共有しながら子供たちを育てていければと考えています。

※このところ全世界的に物語とかストーリーとかナラティブとかドラマという言葉を利用した大衆扇動的な活動が見られ、あんまり「物語」（ストーリーやナラティブ）を至上とすると、それはそれでいろいろ問題はある（ジョナサン・ゴットシャル『ストーリーが世界を滅ぼす』、大治朋子『人を動かすナラティブ』参照）のですが、ここではあえて使います。

【長房中生の活躍】

5組多摩特研球技大会

バスケットボール 🏀 B1リーグ【優勝】・B4リーグ【4位】

6月25日に多摩特研球技大会@（富士森体育館）に参加しました。昨年度に引き続き【優勝】目指して臨んだ今大会。

結果は、B1チーム【優勝】・B4チーム【4位】と健闘しました！

中学生の考えたバランス献立

3年生 ○○ ○○さんによる献立の給食が7月8日に実施されました。

- ・ごはん
- ・豚肉としらたきのしょうゆ煮
- ・厚揚げと小松菜の和風ナムル
- ・鶏肉とかぼちゃのみそ汁
- ・牛乳



野球部

八王子市中学校野球夏季選手権大会 第三位
準決勝 v s 由井・陵南 1 - 2
第三代表決定戦 v s 元八王子 7 - 0 (5回コールド)
都大会 7月22日(火)



第17回交通安全川柳コンテスト

優秀賞
「イヤホンで 聞こえぬベルと さけび声」

○○ ○○

テニス部

八王子市春季テニス大会（団体の部）
1R v s 松が谷 5 - 0 (今シーズン初勝利！)
2R v s 八王子第六 0 - 5

3年生、ありがとうございました！

吹奏楽部

7月18日(土) 17:30～
船田納涼祭にて吹奏楽部が演奏します。

・青と夏
・シュガーソングとビターステップ など



【8月31日引き渡し訓練実施】

災害発生想定時刻は13:20です。
提出していただいている、引き渡しカードに記載の方の引き取りです。詳細は配布済みの通知をご覧ください。

学校ホームページを利用した 情報発信訓練の実施について

災害発生時の安否確認方法として学校ホームページの災害情報掲示板を利用した訓練を実施します。

令和8年8月31日(月) 13:30～14:00

*学校ホームページのトップページが災害情報掲示板に切り替わります。トップページをご確認ください。

保護者サロンの開催のお知らせ

お子さんの発達のことでお悩みの方を対象に、親として発達障害の子どもの子育て経験があり、一定のトレーニングを受けた「ペアレントメンター」による体験談の紹介や相談、参加者同士の交流を行います。各開催日のテーマ、申込方法等の詳細は、市のホームページ（下のQRコード）からご覧ください。

1. 対象 市内在住の中学生以下のお子さんの保護者
2. 日時 10月16日・26日、11月8日・16日、
12月5日・14日、
令和9年1月18日
※各回午前10時から正午まで
3. 会場 八王子市教育センター
4. 定員 各50名(先着順)
5. 問合せ 教育指導課（教育センター）
電話：664-1135



保護者の皆様へ

2学期始めの予定

8月27日(木) 始業式 安全指導 給食始 8月31日(月) 小中合同避難訓練

夏季休業期間中の学校への連絡は8:15～16:45にお願いします。

学校閉庁日 8月10日(月)～14日(金) 職員は不在です。連絡は17日(月)以降にお願いします。

*生徒の生命に関わるような緊急の場合は八王子市教育委員会学校教育部へご連絡ください。

教職員課：042-620-7547 教育指導課：042-620-7412 平日8:30～17:00

※土・日・祝日、勤務時間外は対応できませんので、ご了承ください。